

< J Aバンク中央アカデミー >

全国研修のご案内 (No.1120、No.1480)

統合

## 県域年金推進担当者研修

～年金に関する基礎知識を習得し、年金推進にかかる指導力・年金相談機能等の向上を図る講座～

※ 昨年まで開催していた「年金基礎研修」と「年金推進担当者研修」を統合した内容に改修して開催します。

- ▶ 信連等の推進部署で J A等の年金推進指導を担当する職員の方、J Aバンク県域年金センター機能を担う職員の方のご受講をお奨めします。

### ○ 日 程：(3日間+2日間)

第1回 2022年 6月8日(水) 9:30～10日(金) 15:40 (オンライン)

第2回 2022年10月17日(月) 9:00～18日(火) 15:40 (集合)

### ○ 場 所

第1回 ウェブ会議システム「Webex Meetings」によるオンライン研修

第2回 農林中央金庫品川研修センター(宿泊も同じ)

※第2回目は集合研修を予定しておりますが、コロナ感染状況等によっては、オンライン研修に変更となる場合があります。

### ○ 留意事項

- ① オンライン研修につきましては、農林中央金庫が配付した iPad 端末の確保等、ウェブ会議システム(「Webex Meetings」)に接続できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。

また、ウェブ会議システム上でのグループワークを予定していますので、極力、受講者毎に1端末で受講してください。

- ② 第2回目の集合研修につきましては、コロナ感染防止対策を講じた開催を予定しています。マスク着用のほか外出、飲酒制限等の制約がある可能性があります。

## ○ 研修のねらい（こんな時）

年金に関する基本的な知識を習得するとともに、グループワークやロールプレイング等を多く盛り込み、加えて2回の研修の合間に地元での年金推進指導（JAへの研修と同行訪問等）を実践いただき、年金推進にかかるJAの人材育成指導や相談対応に必要な実践的なスキルを身に付けていただくことをねらいとしています。

## ○ 想定する受講対象者

- 信連等の推進部署でJA等の年金推進指導を担当する職員の方
- 県域年金センター機能を担う職員の方

## ○ 考え方（研修の骨格）

- ① 第1回目は、年金の基礎知識・実務を再確認・習得後、地元JAの年金推進にかかる課題分析や推進のためのスキル等につきグループワークを中心に学びます。
- ② 研修終了後には、第1回目の学習内容をもとに、地元JAでのミニ研修会の開催とそれを踏まえた同行推進活動の実践等を行っていただきます。
- ③ 第2回目では、地元での実践活動により浮かび上がった課題の確認と対応策を検討していただいた後、今後の指導に向けた推進手順の確認や広報活動、推進施策等を確認し、全体として年金推進指導に必要なノウハウを身に付けていただきます。

## ○ 関係者の声

（笹沼講師から）

県域で年金推進指導にあたる担当者がほしいのは「事例」と「情報」です。

この研修はひとりでは学ぶことができない年金推進手法について、各県域の推進状況を確認しあい、グループワークや事後課題をもとに身につけ、JAに還元していくことを目的としています。

県域での特性は様々ですが、年金推進は安定した収益を確保するためにも信用事業において最重要項目となります。

自立して行動できるJA職員育成の手助けをするため、年金推進に特化したこの研修をぜひ活かしてください。

（昨年の「年金推進担当者研修」のアンケートから）

- すぐ現場で生かせる具体的なことを学べて良かった
- グループ討議の時間が多く、楽しみながら受講することができた。他県域の話聞く機会は減多にないので、とても参考になりました。
- 他県JAや信連の現況を知ることができました。（苦労している点など）また、取組方法や施策（予算）が知ることができ勉強になりました。

## ○ 研修講師紹介

**笹沼 和子**（ささぬま かずこ）

<略歴> 栃木県信農連勤務を経て、2001(H13)年に笹沼和子社会保険労務士事務所を開設。(株)服部年金企画所属講師を経て、2011(H23)年4月に独立。

現在は、弊社全国研修のほか、多数の県域で県域研修講師として活躍中。

## ○ 研修プログラム（予定） ※時間調整等により、内容を変更する場合があります。

### 第1回 オンライン研修

	セッション名	内 容
【1日目】 9:00 接続開始		
9:20	事務連絡	
9:30	<開講> ○金融機関と年金 ○信用事業体制の現状認識 ○自県の年金推進体制等の確認 ○公的年金アウトライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ年金をとらなければならないのか</li> <li>・他県 JA と他金融機関の年金取組状況</li> <li>・事前課題シートから自己紹介を兼ねて</li> <li>・年金額が減額改定で影響がある6月定時払振込額</li> <li>・年金相談のポイントは「生年月日」と「職歴」</li> </ul>
12:00		
13:00	○国民年金のアウトライン  ○厚生年金のアウトライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民年金保険料から展開できるJA商品</li> <li>・意外と気になる「学生特例」、「免除」、「猶予」</li> <li>・繰上げ支給率と繰下げ支給（令和4年度改正点）</li> <li>・勘違いが多い「特別支給の老齢厚生年金」</li> <li>・年金相談に活用できる「ねんきん定期便」</li> <li>・年金受給の6つの節目年数</li> </ul>
17:00	(終了)	
【2日目】 9:00 接続開始		
9:30	○在職老齢年金と雇用保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金推進に重要な「在職老齢年金」改正点</li> <li>・「ねんきん定期便」で計算できる在職老齢年金</li> </ul>
12:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に説明したい雇用保険と厚生年金の関係</li> </ul>
13:00	○年金事務手続き  ○指定替推進の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度年金推進対象者</li> <li>・年金事務所の調査方法と帳票の見方のポイント</li> <li>・「年金請求書」記載のポイント</li> <li>・年金請求から振込までの流れ</li> <li>・指定替事務のポイント</li> <li>・共済組合の指定替は注意が必要</li> <li>・年金基礎知識と実務編のまとめ</li> </ul>
17:00	(終了) -	

<b>【3日目】 9:00 接続開始</b>		
9:30	○年金推進体制の現状確認 〔G討議、講義〕	・各区域の年金推進体制比較確認 ・担当者別年金推進 ・ますます重要になる窓口担当者の年金推進
12:00		・年金相談会の開催状況と社労士との提携法
13:00		・DM送付から電話によるアポイント集客法
15:30	○年金訪問活動の留意点 ○年金研修講師対応時の留意点 ○まとめ（質疑、1分スピーチ）	・各区域の今年度開催のイベント、友の会活動 ・次回までの課題 （アクションプログラム作成等）
	アンケート記入 (15:40 解散)	
事後課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ研修会の実施(オンライン研修可)</li> <li>・年金相談会の参画（相談対応またはオブザーバー）</li> <li>・年金同行訪問(時節柄必須ではありません)</li> </ul>	

## 第2回 集合研修

	セッション名	内 容
<b>【1日目】 8:50 集合</b>		
9:00	○第1回目の課題の確認 〔G・全体討議、講義〕	・実践振り返り ・同行や研修を通じ見えてきたこと 等
12:00	○年金数値の取り方再確認	・半年間の区域の年金推進状況確認 ・各区域の帳票様式確認
13:00	○もっと活用できる定期便 〔G討議、講義〕 ○未支給年金から始まる遺族年金	・定期便からライフプランサポートが可能になる ・定期便から試算できる遺族、障害年金 ・遺族年金へのアプローチ手順確認 ・遺族年金指定からの家計メイン化と深耕化
17:30	(終了)	
<b>【2日目】 8:50 集合</b>		
9:30	○今一度考えたい年金呼び戻し法 ○総合事業と年金推進	・年金が振り込みにならない原因とは ・年金振込日の都度、確認したい流出者リスト ・各事業との連携で他金融機関との差別化を図る
12:00		
13:00	○今年度以降の推進に係る改正点 ○次年度は男女の請求が復活する	・法改正は年金推進にどう関係するかを常に考える ・ますます重要な年金予約推進
15:30	○まとめ	・1分スピーチ～今後どう活かすか
	アンケート記入 (15:40 解散)	

## ○ 募集人員

定員 30名

- ※ 応募人数が大幅に定員を上回った場合は、受講をお断り・調整する場合がありますので、予めご承知おきください。
- ※ 応募人数が10名を下回った場合は、開催を中止させていただくことがあります。
- ※ 正式なご案内は、事務の都合上、3週間前頃の送付となります。

## ○ 参加費用（予定）（消費税10%込）

	第1回	第2回	合計
受講料 (教材費、テキスト代込)	80,190円	—	80,190円
宿泊代	—	2,000円	2,000円
食事代	—	3,600円	3,600円
合計	80,190円	5,600円	85,790円

## ○ 日程・会場等

	日程	会場・宿泊場所
第1回	2022年6月8日(水)～10日(金)	オンライン
第2回	2022年10月17日(月)～18日(火)	農林中央金庫品川研修センター

(注) 第2回目の宿泊は農林中央金庫品川研修センターを予定しておりますが、宿泊人数の関係で近隣ホテル等での宿泊(各自で手配)となる場合があります。

<集合研修の場合の集合日時>

研修前日の15:00～21:00の間に品川研修センターにチェックインしてください。

(集合日の夕食は準備しておりませんので、各自でお済ませください。)

<集合研修の場合の研修会場(宿泊場所)>

農林中央金庫 品川研修センター

(住所) 東京都港区港南2-10-13

(電話) 03-6758-3170

## ○ オンライン研修の受講端末等について

- ① 農林中央金庫が配付したiPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② 本研修は、ウェブ会議システム上でのグループワークを予定していますので、極力、受講者毎に1端末で受講してください。  
1端末で複数名が受講する場合は、自組織の受講者間のグループワークとなる場合があります。また、同じ会場で複数の端末を使用する場合は、マイク付きイヤホンを使用するなどハウリング防止対策を講じてください。

③ ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、受講をお申込みください。

④ 通信環境の良い場所で受講してください。通信速度は以下のサイトで測定できます。

(参考) USEN のスピードテストサイト⇒<https://speedtest.gate02.ne.jp/>

上記サイトの判定結果のうち「Web 会議」が「快適」だと比較的安定します。

※ 農林中央金庫が配布した iPad では、上記サイトにアクセスできません。ドコモ回線(4G)を利用しているスマホ等を利用して測定してください。

## ○ 申込みの方法

4月28日(木)までに以下の方法でお申込みください。

お申込み	申込方法
信農連・1JA県JA	「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。
農林中金本支店・営業所	N-Style より農林中金系統人材開発部へお申込みください。

## ○ その他留意事項

農林中金品川研修センターの利用にあたりまして、コロナウイルス感染防止対策のため、マスク着用や外出、飲酒制限等の制約がある可能性がありますのでご承知おきください。

以上

**【本件にかかる照会先】(極力メールでご照会ください)**

(株)農林中金アカデミー 研修企画部 全国研修担当 山口・安達

メール : [kensyu@nc-academy.co.jp](mailto:kensyu@nc-academy.co.jp)

電話 : 4/15 まで 03-3217-3420

4/18 以降 03-6457-8917